

Cisco Aironet ワイヤレスブリッジに関する FAQ

内容

概要

[Cisco Aironet ワイヤレスブリッジとは何ですか。](#)

[シスコはどのような種類のワイヤレスブリッジを提供していますか。](#)

[最新のファームウェア、ドライバ、ソフトウェアはどこからダウンロードできますか。](#)

[コンソールポートを使用して Cisco Aironet ワイヤレスブリッジを接続する方法を教えてください。](#)

[シスコワイヤレス製品のうち、全二重でワイヤレスブリッジを実行できる製品はありますか。](#)

[2つのブリッジ間で通信できないのはなぜですか。](#)

[ワイヤレスブリッジに IP アドレスを設定する方法を教えてください。](#)

[ブリッジのファームウェアのアップグレード方法を教えてください。](#)

[ワイヤレスクライアントをブリッジと関連付けることはできますか。](#)

[ブリッジの設定の保存方法を教えてください。](#)

[Cisco Aironet ワイヤレスブリッジの Aironet 拡張機能を無効にすることはできますか。](#)

[ブリッジと関連付できるデバイスを教えてください。](#)

[ブリッジ通信の周波数を教えてください。](#)

[Cisco Aironet ワイヤレスブリッジではどのような種類の暗号化オプションを利用できますか。](#)

[Cisco Aironet ワイヤレスブリッジではどのような種類の認証メカニズムがサポートされますか。](#)

[Wired Equivalent Privacy \(WEP \) キーとは何ですか。](#)

[ブリッジのパスワードを忘れてしまった場合は、どうしたら回復できますか。](#)

[ワイヤレスブリッジの一般的な通信範囲はどの程度ですか。](#)

[ブリッジのイーサネットポートの速度はどのくらいですか。](#)

[ブリッジの無線周波リンクに対する干渉の発信元として考えられるものは何ですか。](#)

[ブリッジを工場出荷時のデフォルト設定に戻す方法を教えてください。](#)

[ワイヤレスブリッジでサポートされているモードを教えてください。](#)

[アンテナにはライン オブ サイトが必要ですか。](#)

[340 および 350 シリーズワイヤレスブリッジは Cisco IOS® に変換できますか。](#)

[連携して動作する 2 台の Cisco 1310 ブリッジを購入しましたが、同じワイヤレスネットワークにある Cisco 342 ブリッジが、これらの Cisco 1300 ブリッジと通信できません。これらのブリッジには互換性がありますか。](#)

[Cisco 340 シリーズワイヤレスブリッジに複数の VLAN を設定することはできますか。](#)

[SSID をインフラストラクチャモードに設定する必要があるのはどのような場合ですか。またこのパラメータは、ワイヤレスブリッジ、アクセスポイント \(AP \)、または WGB でどのように設定しますか。](#)

[ワイヤレスブリッジは、Cisco ルータと同様に Netflow をサポートできますか。](#)

[Cisco 1410 ワイヤレスブリッジは、Wi-Fi Protected Access2 \(WPA2 \) または Advanced Encryption Standard \(AES \) をサポートしますか。](#)

[1310 ワイヤレスブリッジがブリッジモードで動作する場合とアクセスポイント \(AP \) モード](#)

[で動作する場合の、それぞれの最大通信範囲はどの程度ですか。](#)

[1300ブリッジで壁用マウントキットと内部アンテナを組み合わせたことはできますか。](#)

[壁用マウントキットに設置した内部アンテナ搭載の1310ワイヤレスブリッジは調整可能ですか。それとも固定されていますか。](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Aironet ワイヤレスブリッジに関して最もよく寄せられる質問 (FAQ) について説明します。

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

Q. Cisco Aironetワイヤレスブリッジとは何ですか。

A. Cisco Aironetブリッジは、複数のリモートネットワークを1つのLANに接続するワイヤレスLANトランシーバです。構内の建物間ワイヤレス接続の確立に使用できます。

Q.シスコが提供するワイヤレスブリッジのプラットフォームにはどのようなものがありますか。

A.シスコは次のワイヤレスブリッジのプラットフォームを提供しています。

- [Cisco Aironet 1400 シリーズ](#)
- [Cisco Aironet 1300 シリーズ](#)

以下の Cisco Aironet ブリッジのプラットフォームは生産/販売を終了しているため、シスコに注文することはできません。また、シスコによる直接サポートも終了している可能性があります。

- Cisco Aironet 350 シリーズ ブリッジ
- Cisco Aironet 340 シリーズ ブリッジ

Q.最新のファームウェア、ドライバ、ソフトウェアはどこでダウンロードできますか。

A. Cisco Aironet機器は、すべてのコンポーネントに最新バージョンのソフトウェアをロードする場合に最適に動作します。最新のソフトウェアとドライバは、[ワイヤレスダウンロードのページ](#) (登録ユーザ専用) からダウンロードできます。

Q.コンソールポートを使用してCisco Aironetワイヤレスブリッジに接続するにはどうすればよいのですか。

A.すべてのCisco Aironetワイヤレスブリッジにコンソールポートが付属しているわけではありません。Cisco Aironet 1300 シリーズと 350 シリーズ ワイヤレスブリッジには、コンソールポートが搭載されています。

コンソールポートを使用して350シリーズワイヤレスブリッジを接続するには、次の手順を実行します。

1. 9ピン オスと 9ピン メスのコネクタの付いたストレート型ケーブルを使用して、コンピュータの COM1 または COM2 ポートをワイヤレスブリッジの RS-232 ポートに接続します。
2. HyperTerminal、ProComm、Minicom などのターミナルエミュレーションプログラムを使用します。
3. ポートに次の値を設定します。速度：9600 ビット/秒 (bps) データビット：8ストップビット：1パリティ：noneフロー制御：Xon/Xoff

コンソールポートを使用して 1300 シリーズ ワイヤレスブリッジを接続するには、次の手順を実行します。

9ピン メスの DB-9 to RJ-45 シリアルケーブルを、パワーインジェクタの RJ-45 シリアルポートと、使用している PC の COM ポートに接続します。

コンソールポートを搭載していない 1400 シリーズ ワイヤレスブリッジで、無線 LAN にブリッジを接続せずにブリッジをローカルで設定する必要がある場合は、カテゴリ 5 イーサネットケーブルを使用して長距離パワーインジェクタのイーサネットポートに PC を接続できます。シリアルポート接続を使用するのと同じように、パワーインジェクタのイーサネットポートへのローカル接続を使用できます。PC をパワーインジェクタに接続するのに特別なクロスケーブルは必要ありません。ストレートケーブルまたはクロスケーブルを使用できます。

Q.シスコのワイヤレス製品の中に、全二重でワイヤレスブリッジを実行できるものがありますか。

A.いいえ。 802.11規格では、キャリア検知多重アクセス/衝突回避(CSMA/CA)送受信環境が規定されています。したがって、すべての 802.11 は本質的に半二重/シンプレックスです。

Q. 2つのブリッジが自動的に通信しないのはなぜですか。

A. 2つのブリッジが互いに通信する場合、一方のブリッジがルートモードで、もう一方のブリッジが非ルートモードである必要があります。

ブリッジのデフォルト設定はルートです。そのため、デフォルト設定では 2 台のブリッジの両方がルートモードになるため、通信できません。

Q.ワイヤレスブリッジでIPアドレスを設定するにはどうすればよいのですか。

A.これらの方法を使用して、ワイヤレスブリッジにIPアドレスを割り当てることができます。

- IP アドレスを自動的に割り当てるには、DHSP サーバを使用します (使用可能な場合) 。
- ブリッジにコンソールポートが搭載されている場合は、ブリッジのコンソールポートを使用して静的 IP アドレスを割り当てます。

1300 シリーズ アクセスポイント (AP) /ブリッジをデフォルト設定で LAN に接続する場合、AP またはブリッジは DHCP サーバから IP アドレスを受信しようとします。DHCP サーバが見つからないと、AP/ブリッジは引き続き DHCP アドレスを要求します。この条件を排除するためには、コンソールポートを使用して AP/ブリッジに接続し、静的 IP アドレスを設定する必要があります。

1400 シリーズブリッジをデフォルト設定で LAN に接続する場合、ブリッジは DHCP サーバから IP アドレスを受信しようとします。DHCP サーバが見つからない場合、ブリッジはデフォルトの IP アドレス、10.0.0.1/255.255.255.224 を使用します。

350 シリーズブリッジをデフォルト設定で LAN に接続する場合、ブリッジは DHCP サーバから IP アドレスを受信しようとします。DHCP サーバが見つからない場合、ブリッジはデフォルトの IP アドレス、10.0.0.1/255.255.255.224 を使用します。

Q.ブリッジのファームウェアをアップグレードするにはどうすればよいのですか。

A.ワイヤレスブリッジのソフトウェアイメージをアップグレードする方法については、次のドキュメントを参照してください。

- [350 シリーズ ワイヤレスブリッジのアップグレード](#)
- [1300 シリーズ ワイヤレスブリッジのアップグレード](#)
- [1400 シリーズ ワイヤレスブリッジのアップグレード](#)

Q.ワイヤレスクライアントをブリッジに関連付けることはできますか。

A.これは橋のプラットフォームによって異なります。

350 シリーズ ワイヤレスブリッジは、非ルートブリッジとして設定した場合に、クライアントへのサービス提供をサポートします。

1300 シリーズ ワイヤレスブリッジは、ルートモードと非ルートモードの両方でワイヤレスクライアントへのサービス提供をサポートします。

注：このため、ワイヤレスブリッジGUIの[Network Interfaces]ページの[Role in Radio Network]でブリッジの役割を定義する場合は、[Root Bridge with Wireless Clients]または[Non-Root Bridge with Wireless Clients]を選択する必要があります。

1400 シリーズは、ワイヤレスクライアントへのサービス提供をサポートしていません。

Q.ブリッジの設定を保存するにはどうすればよいのですか。

A.構成の変更は即座に保存されます。また現在の設定を送信することもできます。これについては、次のドキュメントを参照してください。

350 シリーズ ワイヤレスブリッジについては、『[Cisco Aironet 350 シリーズブリッジソフトウェアコンフィギュレーションガイド](#)』の「構成のダウンロード、アップロード、およびリセット」セクションを参照してください。

1300 シリーズ ワイヤレスブリッジについては、『[Cisco Aironet 1300 シリーズ屋外アクセスポイント/ブリッジでの Cisco IOS ソフトウェアコンフィギュレーションガイド \(12.3\(7\)JA\)](#)』の「コンフィギュレーションファイルの操作」セクションを参照してください。

1400 シリーズ ワイヤレスブリッジについては、『[Cisco Aironet 1400 シリーズブリッジソフトウェアコンフィギュレーションガイド \(12.2\(15\)JA\)](#)』の「コンフィギュレーションファイルの操作」セクションを参照してください。

Q. Cisco AironetワイヤレスブリッジでAironet拡張機能を無効にできますか。

A.デフォルトでは、ブリッジは他のワイヤレスブリッジとの通信を改善するためにCisco Aironet 802.11拡張を使用します。

Aironet 拡張機能を無効にできるのは 350 シリーズ ブリッジのみです。Cisco Aironet 1300 シリーズおよび 1400 シリーズ ワイヤレス ブリッジでは、Aironet 拡張機能を無効にできません。

Q.ブリッジと関連付けることができるデバイスはどれですか。

A. ルート ブリッジ :

- 非ルートブリッジ デバイスおよびクライアントとの関連付けおよび通信を実行できます。
- 他のルート ブリッジ デバイスとは通信しません。
- 複数の非ルート ブリッジ デバイスと通信します。

非ルート ブリッジ

- ルート デバイスまたはクライアントとの関連付けおよび通信を実行できます。
- 他のルート デバイスとは通信しませんが、他の非ルート デバイスがルート ブリッジと通信する場合は通信できます。

注：ルートブリッジと非ルートブリッジの両方がクライアントにサービスを提供するのは、無線ネットワーク *Root Bridge with Wireless Clients* または *Non-Root Bridge with Wireless clients* の役割がブリッジでサポートされて、有効になっている場合だけです。

Q.ブリッジはどの周波数で通信しますか。

A. Cisco Aironet 350シリーズブリッジは2.4Ghz ISM帯域で動作し、802.11b標準に準拠し、最大11Mbpsのデータレートを実現します。

Cisco Aironet 1300 シリーズ屋外 AP/ブリッジ (以下、AP/ブリッジと呼びます) は、構内の建物間でワイヤレス接続を確立します。300 シリーズ AP/ブリッジは、2.4-GHz ISM 帯域で動作し、802.11g 標準に準拠して 54 Mbps のデータ レートを実現します。AP/ブリッジは、AP モードの場合は任意の 802.11b または 802.11g クライアントと通信し、ブリッジ モードの場合は他の 1300 シリーズ AP/ブリッジと通信します。

Cisco Aironet 1400 シリーズ ブリッジ (以下、ブリッジと呼びます) は、建物間のワイヤレス接続を提供します。1400 シリーズ ブリッジは、5.8 GHz UNII-3 帯域で動作し、802.11g 標準に準拠して 54 Mbps のデータ レートを実現します。ブリッジは屋外設置用に設計された自己完結型装置です。外部アンテナをブリッジに接続し、各種アンテナ ゲインやカバレッジ パターンを確保できます。ブリッジはポイントツーポイントとポイントツーマルチポイントの両方の設定をサポートしています。

Q. Cisco Aironetワイヤレスブリッジで使用できる暗号化オプションにはどのようなものがありますか。

A. Cisco Aironetワイヤレスブリッジのすべてのプラットフォームで、Wired Equivalent Privacy(WEP)がサポートされています。WEP は、ワイヤレス ブリッジを介して接続されているワイヤレス リンク全体のデータ暗号化において、最も安全な方法というわけではありません。ワイヤレス ブリッジは、WEP よりも安全な他の暗号化方式をサポートします。

1300 ブリッジは、AES 暗号化、Temporal Key Integrity Protocol (TKIP)、Cisco Key Integrity Protocol (CKIP)、WPA を使用した Cisco Message Integrity Check (CMIC) に加え、動的な WEP (802.1x) をサポートします。動的な WEP キーは、静的な WEP キーより安全性が高くなります。動的な WEP キーは頻繁に変化するため、不正侵入者にとってはキーの割り出しが難しくなります。1400 ブリッジは、動的な WEP (802.1x) に加え、WEP、Temporal Key Integrity

Protocol (TKIP)、Cisco Key Integrity Protocol (CKIP)、WPA を使用した Cisco Message Integrity Check (CMIC) をサポートします。

Q. Cisco Aironetワイヤレスブリッジでサポートされる認証メカニズムにはどのようなものがありますか。

A. 350シリーズワイヤレスブリッジは、オープン認証、共有キー認証、MACベース認証、およびEAP認証をサポートしています。350シリーズブリッジでサポートされる認証方式の詳細については、『[Cisco Aironet 350 シリーズブリッジソフトウェアコンフィギュレーションガイド](#)』の「セキュリティ設定」セクションを参照してください。

1300シリーズワイヤレスブリッジは、オープン認証、共有キー認証、EAP認証、MACアドレス認証に加え、MACベース認証、EAP認証、オープン認証の組み合わせ、さらにはCisco Centralized Key Management (CCKM)、およびWPAキー管理をサポートします。1300シリーズブリッジでサポートされる認証方式の詳細については、『[Cisco Aironet 1300 シリーズ屋外アクセスポイント/ブリッジでのCisco IOSソフトウェアコンフィギュレーションガイド 12.3\(7\)JA](#)』の「認証タイプの設定」を参照してください。

1400シリーズワイヤレスブリッジは、オープン認証、共有キー認証、EAP認証、およびWPAキー管理をサポートします。1400シリーズブリッジでサポートされる認証方式の詳細については、『[Cisco Aironet 1400 シリーズブリッジソフトウェアコンフィギュレーションガイド 12.2\(15\)JA](#)』の「セキュリティ設定認証タイプの設定」セクションを参照してください。

Q. Wired Equivalent Privacy(WEP)キーとは何ですか。

A. WEPは、WLANデバイス間で送信されるデータ信号の暗号化と復号化に使用されます。WEPはIEEE 802.11のオプション機能で、転送中のパケットの暴露や改ざんを防止し、ネットワーク使用のアクセスコントロールを行います。この規格で規定されているように、WEPでは40ビットまたは10ビットのキーによるRC4アルゴリズムが使用されます。RC4ではデータの暗号化と復号化に同一のキーを使用するため、RC4は対称アルゴリズムです。WEPをイネーブルにすると、各無線「ステーション」にはキーが配備されます。このキーは、電波を介してデータを送信する前に、データをスクランブルするために使用されます。あるステーションが適切なキーでスクランブルされていないパケットを受信すると、そのステーションはそのパケットを廃棄します。このようなパケットはホストに配信されません。

WEPは、ワイヤレスブリッジを介して接続されているワイヤレスリンク全体のデータ暗号化において、最も安全な方法というわけではありません。ワイヤレスブリッジは、WEPよりも安全な他の暗号化方式をサポートします。

たとえば、1300ブリッジは、AES暗号化、Temporal Key Integrity Protocol (TKIP)、Cisco Key Integrity Protocol (CKIP)、WPAを使用したCisco Message Integrity Check (CMIC)に加え、動的なWEP (802.1x)をサポートします。動的なWEPキーは、静的なWEPキーより安全性が高くなります。動的なWEPキーは頻繁に変化するため、不正侵入者にとってはキーの割り出しが難しくなります。1400ブリッジは、動的なWEP (802.1x)に加え、WEP、Temporal Key Integrity Protocol (TKIP)、Cisco Key Integrity Protocol (CKIP)、WPAを使用したCisco Message Integrity Check (CMIC)をサポートします。

Q.ブリッジで忘れたパスワードを回復するにはどうすればよいのですか。

A. コンソールポート経由でCisco Aironetワイヤレスブリッジを設定するためのパスワードを忘れた場合は、設定を完全にリセットする必要があります。

350 シリーズ ワイヤレス ブリッジの設定のリセット方法については、『[Cisco Aironet 機器のパスワード回復手順](#)』の「Aironet 350 シリーズ ブリッジ」セクションを参照してください。

1300シリーズワイヤレスブリッジの設定をリセットする方法については、『[Cisco Aironet機器のパスワード回復手順](#)』の「[Aironet 1310シリーズブリッジ](#)」セクションを参照してください。

1400シリーズワイヤレスブリッジの設定をリセットする方法については、『[Cisco Aironet機器のパスワード回復手順](#)』の「[Aironet 1410シリーズブリッジ](#)」セクションを参照してください。

Q.ワイヤレスブリッジの一般的な範囲は何ですか。

A.この問題に対する答えは、多くの要因によって異なります。たとえば、必要なデータレート（帯域幅）、ライン オブ サイト、アンテナのタイプ、アンテナ ケーブルの長さ、伝送を受信するデバイスによって変わります。最適なインストール条件下では、最大 25 マイル（約 40 Km）までの範囲をカバーできます。ワイヤレス ブリッジの通信範囲は、[Outdoor Bridge Range Calculation Utility](#) を使用して計算できます。

Q.ブリッジのイーサネットポートの速度はどのくらいですか。

A.ブリッジのイーサネットポートは、10BaseT RJ-45コネクタ、10Base2 BNCコネクタ、または Attachment Unit Interface(AUI)トランシーバを備えた10Base5で10 Mbpsをサポートします。コネクタの種類に関わらず、半二重だけがサポートされます。

Q.ブリッジの無線周波数(RF)リンクの干渉源として考えられるものはどれか？

A.干渉は、2.4 GHzのコードレス電話、不適切にシールドされた電子レンジ、他社製の無線機器など、さまざまなソースから発生することがあります。警察のレーダー、電気自動車、機械類の可動金属部分なども干渉の原因となります。詳細については、「[無線周波通信に影響を及ぼす問題のトラブルシューティング](#)」を参照してください。

ワイヤレスブリッジで接続が断続する問題については、「[ワイヤレスブリッジで接続が断続する問題](#)」を参照してください。

Q.ブリッジを工場出荷時のデフォルト設定に戻すには、どうすればよいのですか。

A. 350シリーズワイヤレスブリッジの設定をリセットする方法については、『[Cisco Aironet機器のパスワード回復手順](#)』の「Aironet 350シリーズブリッジ」セクションを参照してください。

1300シリーズワイヤレスブリッジの設定をリセットする方法については、『[Cisco Aironet機器のパスワード回復手順](#)』の「[Aironet 1310シリーズブリッジ](#)」セクションを参照してください。

1400シリーズワイヤレスブリッジの設定をリセットする方法については、『[Cisco Aironet機器のパスワード回復手順](#)』の「[Aironet 1410シリーズブリッジ](#)」セクションを参照してください。

Q.ワイヤレスブリッジでサポートされるモードにはどのようなものがありますか。

A.ワイヤレスブリッジは、次のいずれかのモードで動作できます。

- install—アンテナ調整のため、AP/ブリッジをブリッジ リンク セットアップ モードにします。自動オプションでは、AP/ブリッジは、ブリッジ モードの他の AP/ブリッジや AP へのリン

クを自動的に検索するように設定されます。ルート オプションおよび非ルート オプションでは、AP/ブリッジを手動で設定できます。

- non-root—AP/ブリッジを非ルート ブリッジ モードにします。wireless clients オプションでは、非ルート AP/ブリッジが非ルート ブリッジ モードの間にクライアントを関連付けできます。
- root—AP/ブリッジをルート ブリッジ モードにします。ap-only オプションでは、AP/ブリッジはルート AP として動作します (デフォルトのステーションの役割)。
- scanner—AP/ブリッジはスキャナのみとして動作し、クライアント デバイスからの関連付けを受け入れません。AP/ブリッジはスキャナとして 無線データを収集し、ネットワーク上の WDS サーバに送信します。スキャナ モードは、ネットワーク上の WLSE デバイスと併用する場合にのみサポートされます。注：すべてのワイヤレスブリッジが、ここで説明するすべてのモードをサポートしているわけではありません。ワイヤレスブリッジでサポートされているモードの詳細については、ワイヤレスブリッジ固有のコンフィギュレーションガイドを参照してください。

Q.アンテナを機能させるにはラインオブサイトが必要ですか。

A.ブリッジに接続するアンテナには、視線以外の無線視線経路も必要です。無線のライン オブ サイトには、フレネルゾーンと呼ばれる可視のライン オブ サイトのまわりの楕円空間が含まれます。最適なパフォーマンスのために、フレネルゾーンには、木、電力回線、建築物、地理上の障害物のような障害物が一切ない状態にしてください。詳細については、『[ワイヤレス LAN ネットワークにおける接続性のトラブルシューティング](#)』を参照してください。

Q. 340および350シリーズワイヤレスブリッジはCisco IOS®に変換できますか。

A.いいえ。340および350シリーズワイヤレスブリッジはCisco IOSに変換できません。VxWorks が動作する 350 シリーズ アクセス ポイントは Cisco IOS にアップグレードできますが、340 および 350 シリーズ ワイヤレス ブリッジは Cisco IOS にアップグレードできません。Cisco IOS で動作するのは、1300 および 1400 シリーズのみです。

Q. 2つのCisco 1310ブリッジを購入したばかりで、これらが連動します。同じワイヤレス ネットワークにある Cisco 342 ブリッジが、これらの Cisco 1300 ブリッジと通信できません。これらのブリッジには互換性がありますか。

A. No. Cisco 1300ブリッジはCisco 340ブリッジと互換性がないため、相互に通信できません。Cisco 1300 ブリッジの詳細については、『[Cisco Aironet 1300 シリーズ屋外アクセス ポイント/ブリッジ Q&A](#)』を参照してください。

Q. Cisco 340シリーズワイヤレスブリッジで複数のVLANを設定できますか。

A.いいえ。Cisco 340シリーズワイヤレスブリッジは1つのVLANのみをサポートします。Cisco Aironet 340 シリーズ ブリッジを使用すると、複数のリモート イーサネット LAN を接続して1つの仮想 LAN (VLAN) を構成できます。

Q.インフラストラクチャモードのSSIDを設定する必要があるのはいつですか。また、ワイヤレスブリッジ、アクセスポイント(AP)またはWGBでこのパラメータを設定するにはどうすればよいのですか。

A. インフラクチャSSIDは、非ルートAP/ブリッジまたはWGB無線にこのSSIDに関連付けるように指示するために使用されます。

これを設定するには、次の CLI コマンドを追加します。

```
bridge#configure terminal
bridge(config)#interface dot11radio 0
bridge(config-if)#ssid bridgeman
bridge(config-ssid)#infrastructure-ssid
bridge(config-ssid)#end
```

SSID の詳細については、『[SSID の設定](#)』を参照してください。AP と WGB を設定する場合、関連付けを行うためには、それらに同じ SSID が必要です。

Q. ワイヤレスブリッジは、シスコルータと同様にNetflowをサポートできますか。

A. いいえ。Cisco AironetワイヤレスブリッジはNetflowをサポートしていません。ただし、SNMP MIB を使用して、入出力のパケット数とバイト数をサポートすることはできます。

Q. Cisco 1410ワイヤレスブリッジは、Wi-Fi Protected Access2(WPA2)またはAdvanced Encryption Standard(AES)をサポートできますか。

A. いいえ。Cisco 1410ワイヤレスブリッジはWPA2またはAESをサポートしていません。

Q. ブリッジモードおよびアクセスポイント(AP)モードで動作する場合、1310ワイヤレスブリッジでカバーされる最大範囲はいくつですか。

A. 1310シリーズには、アンテナが内蔵されています。ブリッジがブリッジ モードで動作する場合、ブリッジ間の通信範囲は数 km に及びます。ブリッジが AP モードで動作する場合、クライアントが到達できる通信範囲は制限されます。

クライアントは 1 km の距離からでもブリッジを認識できることがあります。しかし、ブリッジからの信号を受け取ってブリッジに接続することはできません。ワイヤレスクライアントは、最大約 200 m またはそれ以下の距離で AP として動作する 802.11g AP または 1310 にアクセスして到達することができます。

Q. 1300ブリッジで壁面取り付けキットと内部アンテナを組み合わせることはできますか。

A. いいえ。壁面マウントを使用する場合、内部アンテナは壁面を指し示します。また、壁用マウント キットはアンテナに対応します。

Q. 壁面取り付けキットに取り付けられた内部アンテナで1310ワイヤレスブリッジを調整することはできますか。それとも固定されていますか。

A. これは固定的な解決策です。したがって、壁用マウント キットを使用する場合は、外部アンテナを使用する必要があります。

[関連情報](#)

- [Cisco Aironet 機器のパスワード回復手順](#)
- [無線周波通信に影響を及ぼす問題のトラブルシューティング](#)
- [ワイヤレス LAN ネットワークにおける接続のトラブルシューティング](#)
- [Cisco Aironet 350 シリーズ テクニカル ノート](#)
- [Cisco Wireless Downloads \(登録ユーザ専用 \)](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)